



**Profile**

S47・4・16生 A型 盛岡市出身 岩手医大歯学部卒業後、大学院へ。歯周病を専門に研究し博士号を取得。大病院勤務後、神奈川県クリニックに勤務時代、日本歯周病学会認定歯周病専門医の認定を受ける(全国の歯科医師13万人中800人程)。帰郷後、たかデンタルクリニックを開業し現在に至る。

**たかデンタルクリニック  
院長・歯学博士・歯周病専門医**

**佐藤 貴彦 さん**

Takahiko Sato

**精度の高い治療とより一層の機能美を追求する歯学博士**

**自分を信じ、選んだ歯科医への道**

「痛くもないのに、あの機械音にドキドキして、緊張感が張り詰めた感じ…」

過去の歯医者さん経験に、そんなイメージを抱く人も少なくないのでは? との質問に

「そうですね。でも近年の治療技術は目覚ましく、痛みなどのダメージを極力抑える事などもできるんです。」

そう話すのは、たかデンタルクリニックの佐藤先生。「患者と同じ目線で治療を考えてくれる」、(わかるまで何度も説明してくれる)と、治療以外の時間も惜しまないと評判の歯医者さんだ。

中学時代はハンドボールに熱中していた佐藤先生。成績も優秀だった彼は、強豪校の盛岡一校へ入学し、念願のハンド部に所属したのだが、熱中しすぎたせいかみるみる成績は下がる一方。

「その時は焦りましたよ。高校教諭である父にも、両立が無理なら考えろと言われ、しょうがなく一旦休部という形をとったんです。休んだからといって、すぐに(成績が)上がるワケでもなく時間がかかっちゃって。結局2年の夏くらいに、父の了承を得



特殊なルーペや顕微鏡を使つての同クリニックの診療。裸眼での目視では確認されなかつた虫歯や原因などを発見し、同機器を使ったミクロ単位の治療によって精度の高い治療が可能に。

てやっと復帰。復帰後は部活をがむしゃらに頑張った成果としてインターハイにも行くことができました。勉強はそこそこ頑張りましたよ…笑。」

そんな普通の高校生らしい日々を過ごす一方、将来への不安もあったと話す佐藤先生。「理数科だったんだけど、そこを生かした将来の職業に全然ピンとこなくてね(笑)工業系も農業系も想像できなくて、唯一考えられたのが医師という職業。だけど医学部は到底無理だったから歯学部…ハハ(苦笑)」

院長という肩書きを感じさせない、とても気さくな人柄。(自身や家族が受けたい治療を提供する)というクリニックの方針も、先生らしい個性が伺える。

**治療の質にこだわらる理由**

大学の6年間の他、院生として4年間勉強し、さらに大病院院歯科医師として、3年の経験を積んだ後、修行として神奈川県の開業医に勤務する事に。

「ホントは留学したかったけど、すごくお金がかかるので断念。でも、いい勉強ができ



たかデンタルクリニック  
住所：盛岡市中央通り1-6-26  
HIKAGEMONサトウビル2F  
診察：月・火・木・金  
9:30~12:30 14:30~19:00  
水 9:30~13:00  
土 9:30~12:30 14:00~17:00  
休み：日・祝  
H P : <http://www.taka-dc.com>



治療環境も重視する同クリニックでは、子供連れママの診療時間とのスペースとタイムを。さらに子供たちを安心してキッズルームを設置。他、患者さんを対象に無料で、様々なセミナーを開催している。

県内に数合しかないとマイクロスコープ(治療用顕微鏡)を使つての精密な治療は、病気の改善だけでなく、見た目の美しさをも兼ね備えた「機能美」を追求できるという。理想を語る時の、穏やかな笑顔が印象的な佐藤先生。博士号を取るまで研究に没頭した学生時代の熱意は、現クリニックのコンセプトに表れているのかもしれない。

ましたよ。医師向けのセミナーとかにも行つたし。」

神奈川時代をきっかけに、自身の理想が徐々に浮き彫りになったと話す佐藤先生。日々進歩する歯科医療に、より積極的に取り組むようになったのだとか。

「病気の中には、古い治療箇所が原因となつて再発するケースも。それは、その当時の治療技術や材料の限界がもたらしている事なんだけども。だから再発を防ぐためにも、その場限りの治療はしない。進歩成長し続けている歯科医療と、予防治療に取り組んでもらう事で、長期的にお口の健康を保つてほしいんですよ。だって歯は、予防によって病気からのトラブルを回避できる、数少ない臓器なんですから。」